秋田県立高等学校管理規則の一部を改正する規則をここに公布する。
令和七年三月二十八日

秋田県教育委員会教育長 安 田 浩 幸

秋田県教育委員会規則第十号

秋田県立高等学校管理規則の一部を改正する規則

秋田県立高等学校管理規則（昭和六十一年秋田県教育委員会規則第二号）の一部を次のように改正する。
次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>（週休日及び勤務時間の割振り等） 第二十五条 職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成七年秋田県条例第三号。以下「勤務時間条例」という。）<u>第三条第三項及び第四条の規定による週休日及び勤務時間の割振り等は、校長が行うものとする。</u></p> <p>（休暇の手続） 第三十条 職員は、人事委員会規則八―六（職員の勤務時間、休日及び休暇）第十二条に規定する特別休暇（出産休暇、保育休暇及び健康管理休暇（以下この条において「出産休暇等」という。）を除く。以下この項において同じ。）を受けようとするときは、あらかじめ電子情報処理組織を使用する方法により、又は年次・特別休暇請求書を提出して校長に請求し、その承認を受けなければならぬ。ただし、やむを得ない事由により、あらかじめ届け出ることができないときは、事後において速やかに届け出なければならぬ。</p> <p>2～8 略</p>	<p>（週休日及び勤務時間の割振り） 第二十五条 職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成七年秋田県条例第三号。以下「勤務時間条例」という。）<u>第四条</u>の規定による週休日及び勤務時間の割振り は、校長が行うものとする。</p> <p>（休暇の手続） 第三十条 職員は、人事委員会規則八―六（職員の勤務時間、休日及び休暇）第十二条に規定する特別休暇（出産休暇、保育休暇及び生理休暇（以下この条において「出産休暇等」という。）を除く。以下この項において同じ。）を受けようとするときは、あらかじめ電子情報処理組織を使用する方法により、又は年次・特別休暇請求書を提出して校長に請求し、その承認を受けなければならぬ。ただし、やむを得ない事由により、あらかじめ届け出ることができないときは、事後において速やかに届け出なければならぬ。</p> <p>2～8 略</p>

附 則

この規則は、令和七年四月一日から施行する。